

重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目										
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。												
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)												
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能					
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備					
				3.2	3.2.2	③	昼光制御					
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔					
					2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔					
					2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔					
					2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔					
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1				⑤	生物環境保全と創出				
			3	3.2			⑥	敷地内温熱環境の向上				
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) LR-1.1 PAL値＝22%	LR-1	1				⑦	建物の熱負荷抑制				
		2	2.1			⑧	自然エネルギー直接利用					
				2.2		⑧	自然エネルギー変換利用					
		3				⑨	設備システムの高効率化					
		4	4.1			⑩	モニタリング					
				4.2		⑩	運用管理体制					
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材)	LR-2	1	1.1		⑪	節水					
	LR-2.1.1 節水型の器具を採用				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム				
	LR-2.2.3 有害物質を含まない建材を使用					1.2.2	⑪	雑排水利用システム				
	LR-2.2.5 使用建材を仕分け可能	2	2.1	2.1.1		⑫	躯体材料の再利用効率					
	LR-2.2.6.1 ハロン系消火剤不使用				2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率					
				2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材					
				2.3		⑫	有害物質を含まない材料					
				2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用					
				2.5		⑫	部材の再利用可能性					
			2.6	2.6.1		⑫	消火剤					
					2.6.2	⑫	断熱材					
					2.6.3	⑫	冷媒					
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5				⑬	温熱環境悪化の改善				
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)											
		■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性				
					2.1.2	⑭	免震・制振性能					
				2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備					
				2.4.2		⑮	給排水・衛生設備					
				2.4.3		⑮	電気設備					
				2.4.4		⑮	機械・配管支持方法					
				2.4.5		⑮	通信・情報設備					
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)												
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) Q-2.1.1.3 バリアフリー法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている Q-3.3.1.1 広い室内空間を確保 Q-3.3.1.2 広い室内空間を確保	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画					
			3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり					
					3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ					
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上					
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)												
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出					
			2			⑳	まちなみ景観への配慮					
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上					
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善					